

本号の主な内容

【事務局より】

【Dr.伊藤のすこやかコラム：スギ花粉・黄砂・PM2.5】

【事務局より】

都内では桜が散り始めました。  
春は別れと新たな出会いの季節。  
卒園の切ない別れに心を震わせ、  
新しい出会いに胸を躍らせている子どもたち。  
4月からそれぞれの場所でたくさんの出会いを通し成長してほしいと願います。

さて、2012年度の調査ご協力誠にありがとうございました。  
遅くなってしまいましたが、  
ご協力いただきましたご世帯の皆さんには、  
4月上旬には調査結果が届く予定です。  
今しばらくお待ちください。

【 Dr. 伊藤のすこやかコラム： 】 スギ花粉・黄砂・PM2.5 （伊藤淳先生）

今年はスギ花粉の飛散量が例年の数倍も多いことに加えて、  
黄砂や基準を超える PM2.5 が観測される日も増えています。  
スギ花粉は花粉症を起こしますし、黄砂や PM2.5 は喘息や気管支炎など呼吸器系に影響します。  
さらに黄砂に付着している大気汚染物質（NOx や Sox など）が  
アレルギー反応を誘発する危険性も指摘されています。

スギ花粉症の方のみならず、今年はマスクをして外出される方が多いかと思います。  
マスクでどこまで防げるのか、調べてみました。

スギ花粉は約 30～40 ミクロン、黄砂は約 3～4 ミクロン、  
PM2.5 は 2.5 ミクロン以下の微粒子です。  
ちなみに、インフルエンザウイルスは約 0.1 ミクロンです。

市販されている一般的なマスク（不織布）は  
5 ミクロン以上の大きさの粒子をキャッチするように織られています。  
つまりスギ花粉はキャッチしますが、黄砂や PM2.5 は侵入を防ぎきれません。  
インフルエンザウイルスはマスクを通過してしましますが、  
くしゃみなどで飛び散る 5 ミクロン以上の飛沫にウイルスはいるので、  
ある程度の予防効果は期待できます。

